

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価結果

学校名 佐賀市立三瀬中学校

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・個別最適で協働的な学びの実現を目指した授業実践を行った。生徒が主体的に学ぶためのICT機器の活用が課題として挙げられる。個人PCの活用や日々の持ち帰りから、効率的に理解を更に深めさせたい。
・行事を精選し、生徒の主体的な活動とすることができた。今後も生徒たちが行事を通して成長していくことに重点を置き、更に精選し働き方改革の視点も忘れずに取り組んでいきたい。
・小中一貫校として、小学校との連絡や連携を密に行い、9年間を見通しての子どもの成長を見据え、学習面・生活面の連携を深めていく。

2 学校教育目標
ふるさとを愛し、自信と誇りをもち、未来を拓く子どもの育成

3 本年度の重点目標
①9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の取り組み
②学力の向上(基礎・基本の充実)と自己教育力の育成
③一人一人を大切に教育の推進
④豊かな心・健やかな体を育む教育の推進
⑤国際化情報化に込められた教育の推進
⑥教職員の資質向上と働き方改革

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組 評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価(進捗度、進捗状況と見通し) 最終評価(達成度、実施結果) 学校関係者評価(評価、意見や提言) 主な担当者

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組 評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価(進捗度、進捗状況と見通し) 最終評価(達成度、実施結果) 学校関係者評価(評価、意見や提言) 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望
・個別最適で協働的な学びの実現を目指し、1人1台端末の活用を通し「学び合う活動」を取り入れた授業実践を行った。教師がICT機器を活用し、生徒の理解や活動を高めるためにどのような学びを仕組むのか今後も研究していきたい。
・今後の生徒数減少等を踏まえ行事の実施方法や地域との連携を進めながらも、生徒の主体的な活動の場を設けることができた。今後も生徒たちが行事を通して成長していくことに重点を置き保護者や地域の方々々と連携していきたい。
・小中一貫校として、小学校との連絡や連携を密に行い、9年間を見通しての子どもの成長を見据え、中学校の職員間にもとより小学校との学習面・生活面の連携を深めていく。